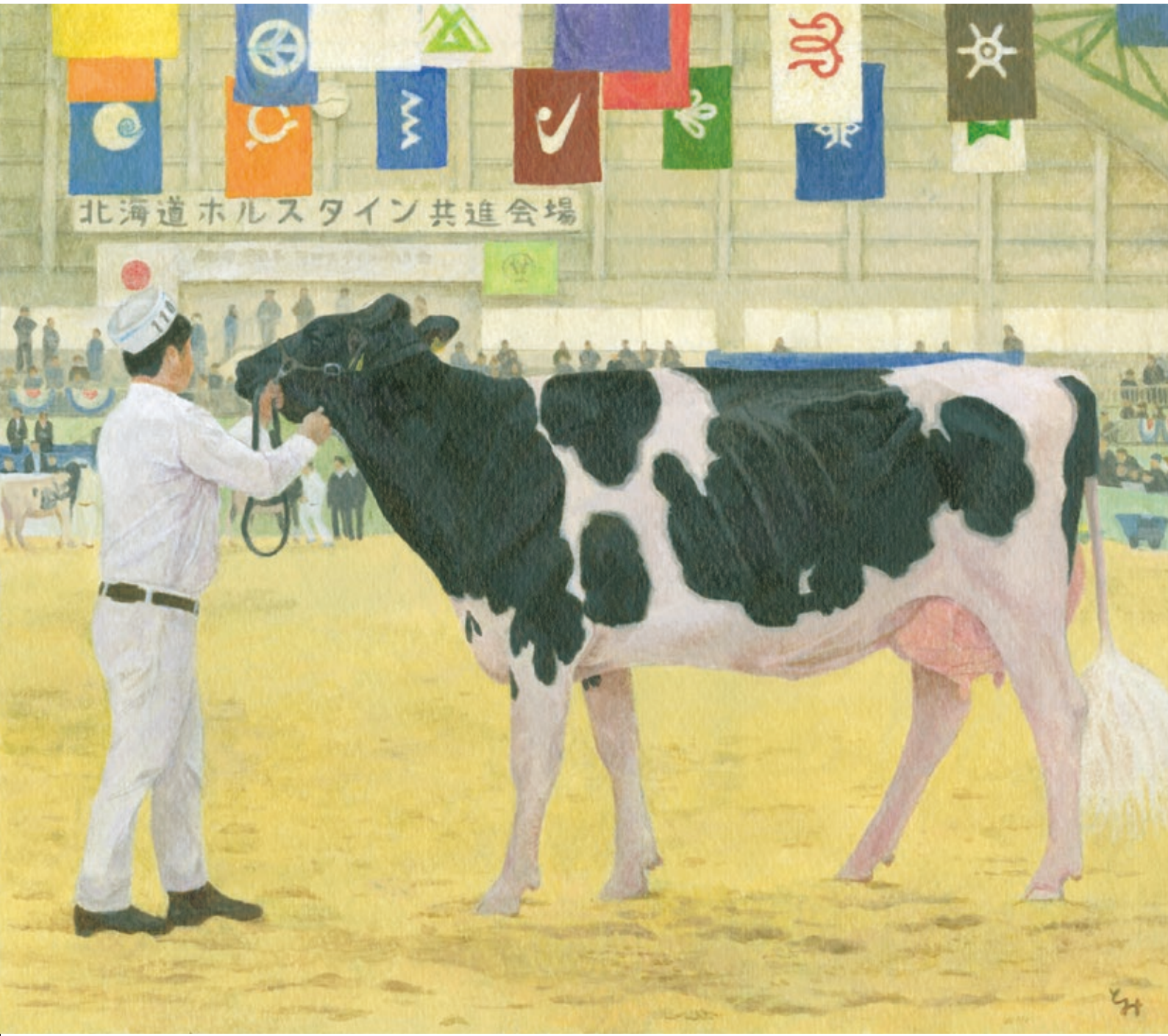
発行所／一般社団法人
ジェネティクス北海道
発行人／近藤 好弘　令和8年1月15日号

Vol.471
冬号

Sire サイア

CONTENTS

2 新年のご挨拶
3 AI・ET講習会開催要領
4 現場レポート 新ひだか町 株式会社渡辺農場
6 注目のカウファミリー ハートジエンリー ヨーダー モデスト ET VG-86
8 「隆之姫」最新情報
10 現場レポート 豊西町 有限会社トヨニシファーム
12 高ゲノミック育種価雌牛導入事業「GEN」
13 令和7年 本誌表紙を飾った作品
14 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介（肉）
H黒-451 博幸紀・H黒-456 北月乃・
H黒-460 博美津豊・H黒-461 拓夢平



「スウイートハート キヤラメル ソルト フラペチーノ」

画：冨田 美穂　HP「MIHO TOMITA 牛の木版画と絵画」 https://tomitamiho.com/

謹賀新年

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりジェネティクス北海道の乳用牛、肉用牛の改良増殖事業につきまして、格別のご理解、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の不安定化、米国の高関税政策など、不透明な世界経済の動向が続き、さらには一層の円安傾向の進むなか、依然、飼料やエネルギーコストの高止まりが長期化し、酪農畜産経営を強く圧迫しています。

特に酪農においては、二度にわたる乳価引上げの一方で、過年度の生産抑制の影響による経産牛頭数減少により、生乳生産は昨年の下期以降、低調な推移に転じており、さらに昨夏の記録的猛暑による繁殖への悪影響なども懸念されております。

また、肉用牛においては、全国的に黒毛和牛の子牛出回り頭数が減少するなか、子牛の市場相場は昨年の春先以降は回復傾向にありますが、一方で諸物価高騰の影響により和牛枝肉価格は依然として低調な推移となっており、特に肥育経営にとってはより厳しい経営環境になっていると考えられます。

このように依然として、酪農畜産を巡る情勢は大変厳しい環境にありますが、昨年は10年ぶりに第16回全日本ホルスタイン共進会が北海道安平町で開催され、全国から386頭の精鋭牛が一堂に集まり、全国の酪農家と酪農関係者にとっては久しぶりの大きな喜びのなかで、盛大裡に終了いたしました。特に後代検定クラスでは、当団種雄牛のJP3H60517 カプレゼとJP3HJ58868 リトルスターの娘牛がJサイアクラス3部門すべてを制したほか、当団種雄牛の多くの娘牛たちが各部門で活躍したことは、誠に喜ばしく、私どもにとっても大きな誇りであります。

そして、いよいよ来年8月には第13回全国和牛能力共進会北海道大会が開催されますが、生産現場では出品に向け、より一層、精力的な取組みが進められております。

こうしたなかで当団は、本年も引き続き果たすべき使命である「家畜の改良と増殖を図り、酪農畜産経営の安定に寄与する」ことを第一に、各事業を推進してまいります。

特に種雄牛の改良については、乳用種、黒毛和種ともにゲノム評価を有効に活用し、高能力かつ機能的体型の優れた種雄牛の造成を進めるとともに、品質の安定した凍結精液の生産に努めてまいります。なかでも性選別精液については、生産現場での後継牛の効率的な確保や肉用牛の有利販売に向けた雌雄それぞれの需要に対応するために、一層の品質向上と生産効率の改善に取り組んでまいります。

そして、後代検定事業により選抜された経済性の高い検定済種雄牛とともに、乳用種については遺伝子を先取りしたヤングサイアのより積極的な利用促進を推進してまいります。

さらには、家畜人工授精師資格取得講習会と受精卵移植師資格取得講習会を、引き続き計画的に開催し、各地域の技術者養成にも積極的に貢献してまいりますとともに、各種の振興奨励事業にも鋭意、取り組んでまいります。

本年は、当団にとって第13次事業運営3カ年計画の最終年となりますが、「私たちは、生産者とともに環境変化に適応し、新時代の牛づくりに挑戦します」というビジョンのもと、生産者の皆さまの経営向上に、改良増殖の分野からお役に立てるように、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、変わらぬご指導とご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人
ジェネティクス北海道

理事長
篠原 末治

令和8年度
「牛に係る家畜人工授精に関する講習会」及び「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」開催のお知らせ

牛に係る家畜人工授精業務の資格を付与するための講習会と牛に係る家畜体内受精卵移植業務の資格を付与するための講習会の開催をそれぞれ下記のとおり予定しています。受講資格等の詳細については、開催要領等を当団ホームページに掲載していますのでご確認をお願いします。

○牛に係る家畜人工授精に関する講習会
・期日：令和8年5月18日（月）から同年6月11日（木）まで（日曜日を除く22日間）
修業試験は同年6月11日（木）及び12日（金）に実施

○牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会
・期日：令和8年8月24日（月）から同年9月9日（水）まで（日曜日を除く15日間）
修業試験は同年9月9日（水）に実施

○実施場所：両講習会ともジェネティクス北海道 繁殖技術研修センター
上川郡清水町字御影南2線73番10（一社）ジェネティクス北海道十勝北見事業所内

▲AI講習会開催要領 詳細はこちら

▲ET講習会開催要領 詳細はこちら

ジェネティクス北海道 ソーシャルメディア公式アカウント

当団公式SNSで様々な情報を発信しております。お気軽にお声掛けください。

X（旧Twitter）　Instagram　Facebook　YouTube

フォロー・チャンネル登録お待ちしております！

ジェネティクス北海道の交配相談サービス

北海道限定

GenFIT

改良のトレンドや次世代の近交係数も一目でわかります！
遺伝病の発症やハプロタイプのホモ化も自動的に回避！
ぜひお近くの事業所までご連絡ください！（GenFITは無償で提供しております）

Gen FIT
Genetics Hokkaido Mating Service

静内の大地が育むやさしい脂
ブランド牛「桜黒和牛」の現場を訪ねて
～新ひだか町 株式会社渡辺農場～

新ひだか町

北海道日高地域の中央部に位置する新ひだか町は、太平洋に面した温暖で穏やかな気候と、広大で起伏に富んだ草地を有する、畜産に適した地域です。日高山脈を背にし、海からの湿った空気と内陸の冷涼な空気がほどよく交わることで、夏季も比較的過ごしやすく、家畜にとってストレスの少ない飼養環境が形成されています。こうした自然条件は、肉用牛の繁殖・育成においても高く評価されています。

なかでも静内地区は、全国的に知られる馬産地であり、長年にわたり軽種馬生産を中心に発展してきました。馬産地として培われた家畜管理技術や飼養環境への配慮は、肉用牛生産にも生かされており、日常的な観察や運動量の確保、疾病の早期発見といった点で高い水準を誇ります。

また、春には約7kmにわたって続く二十間道路桜並木が満開を迎え、全国から多くの観光客が訪れるなど、自然と文化が調和した地域でもあります。良質な牧草生産が可能な土地柄と、畜産を支えてきた歴史が重なり合う新ひだか町は、繁殖・育成・肥育まで幅広い畜産経営が展開される、北海道内でも重要な畜産地域の一つとなっています。

株式会社渡辺農場

株式会社渡辺農場は、新ひだか町静内地区の広大な草地を活用し、肉用牛の繁殖・育成・肥育を一貫して行う農場です。先代は酪農経営とともに、軽種馬向けの牧草販売を手がけていましたが、昭和46年から黒毛和種の飼養を開始しました。その後、昭和51年に酪農業から畑作へ転換し、町の貸付事業を活用しながら和牛飼養を本格化させていきました。

渡辺隆さん

現代表の渡辺隆さんが27歳の時に経営を引き継いだ後は、軽種馬向け牧草販売に依存しない経営を目指し、和牛繁殖を軸とした複合経営へと舵を切りました。平成12年の鹿児島県への視察を契機に本格的な繁殖経営へ踏み出し、翌年には繁殖牛の導入を進めましたが、その直後に日本国内でBSEが発生しました。子牛価格の低迷など厳しい経営環境に直面したそうです。しかし、そのような状況下においても将来を見据えた増頭を進め、基盤づくりに取り組んできました。

また、平成15年からは静内和牛生産改良組合の設立に尽力し、約25年間にわたり組合長を歴任されるなど、地域全体の和牛生産の発展にも大きく貢献されています。

牛舎

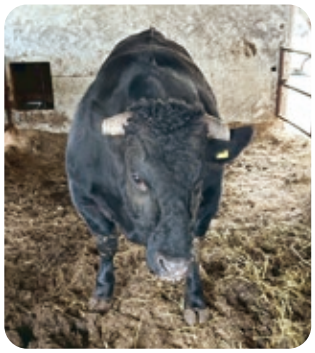
長靴ゾーンと土足禁止ゾーン（餌場）に分かれている

現在は、繁殖牛約215頭、育成牛約85頭、哺育牛約68頭、肥育牛約48頭を飼養し、規模の拡大と安定経営を両立させています。

繁殖成績の維持・向上にも力を入れており、当団種雄牛では「H黒-313 北美津久」、「H黒-337 奈美桜」、「H黒-345 咲早桜５」などを活用し、血統の特性を見極めな

がら交配を行っています。分娩間隔の短縮や繁殖成績の改善を重視し、牛群全体の改良をされていると伺いました。

また、「牛も人も住み良い農場づくり」を理念に掲げ、哺乳ロボットの導入による労力軽減、ICT技術を活用した牛群管理、分娩事故防止を目的とした分娩検知システムの活用も行い、アニマルウェルフェアを重視した飼養環境の整備に取り組まれています。



北美津久産子の肥育牛

桜黒和牛の味へのこだわり

渡辺農場の自社ブランド「桜黒和牛」は、脂にクセがなく、あっさりとした甘みのある味わいが特徴です。この味を生み出すまでには、長年にわたる飼料設計の試行錯誤がありました。

育成期には、企業と共同で開発したビール粕を活用した発酵飼料を使用し、醤油粕・みりん粕・酒粕を組み合わせることで嗜好性を高めています。さらに、糖蜜の添加や発酵期間の調整など細かな工夫を重ね、牛がよく食べ、健全に育つ飼料へと完成させていきました。肥育後期にはジャガイモ由来のでんぷん粕や米・小麦などをブレンドした発酵飼料を給与し、食い止まりの改善と肉質の安定化を目指されているそうです。

粗飼料についても強いこだわりがあり、町内産の稲わらと自家産100％の牧草を使用しています。14～15ヶ月齢までは牧草のみを給与し、後期も稲わらと牧草を7:3の割合で与えるなど、一般的な肥育とは異なる管理を継続されています。

こうした飼養方法が肉質に安定して反映されるまでには約7年を要したといい、「桜黒和牛」の味づくりに対する強い信念と継続力を伺うことができました。

潤沢な粗飼料を食べる牛たち

これだけの数の原料をバランスよくブレンドしている

今後の展望

渡辺農場では、令和5年から「しずない桜まつり」に合わせ、二十間道路桜並木に面した畑を活用した産直イベントを開催し、「桜黒和牛」を来場者に提供しています。実際に食べてもらうことで「桜黒和牛」の味や生産背景を知ってほしいという思いから始めた取り組みであり、地域と一体となったブランド発信を今後も続けていきたいとお話しいただきました。

今後は、繁殖成績のさらなる安定化や省力化の推進とともに、「桜黒和牛」を通じて新ひだか町の魅力をより多くの消費者へ伝えていくことを目標とされています。

大変お忙しい中、取材にご協力いただいた渡辺さんをはじめ、JA担当者ならびに関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。株式会社渡辺農場様の今後ますますのご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

（道央広域事業所　武内 美帆、中村 結）

肥育牛舎から望む海

株式会社渡辺農場

【ホームページ】https://watanabe-wagyu-farm.com/
【ECサイト】https://watanabe-wagyu-farm.com/shop/
【Instagram】https://www.instagram.com/watanabenoujou.shizunai/
【Facebook】https://www.facebook.com/watanabewagyufarm/

ホームページ　ECサイト　Instagram　Facebook

注目のカウファミリー 第52回

ハートジエンリー ヨーダー モデスト ET VG-86

写真1

今回は、2025年8月検定済種雄牛として全国第5位で初登場した「JP3H60369 フオース」を輩出したファミリー「ハートジエンリー ヨーダー モデスト ET VG-86」についてご紹介します。当ファミリーは乳用性に富んだ機能的体型と優れた生産寿命、繁殖性に加えて乳脂肪の高さと様々な形質において高い遺伝能力を発揮することに定評があります。

ハートジェンリーホルスタインズはアメリカ・ウィスコンシン州エルクホーンに位置する代々続く家族経営の牧場であり、世界的にインパクトを与えた種雄牛「キヤプテン」の父「ハートジエンリー リチヤード チヤール ET」を輩出したことで広く認知されています。現在は搾乳牛160頭を搾乳ロボット2台で管理し、体内モニタリングシステムを米国内でも早期に導入するなど、飼養管理技術力の高さでも注目を集めています。

1984年、ハートジェン夫妻は4Hプログラムに参加する子どもたちのために1頭の雌子牛を送りました。この牛は当時625ドル（約14.8万円）で導入された「JDF-WI ベリー メアリー（父：ベリー）」【写真2】で、ショウリングで活躍し、14歳9産という長命性を発揮、生涯生産乳量117,972kgでEX-91点を達成しました。「メアリー」の持つ乳用性に富んだ正確な骨格構造からなる長命性、産乳能力は子孫にも色濃く受け継がれており、中でも注目を集めたのが孫にあたる「ハートジエンリー ダンテ マリツサ ET EX-93（父：ダンテ）」【写真3】です。

「マリツサ」は4産68,341kg F4.0% P3.4%の好記録に加えて、EX-93点を達成したエリートカウであり、彼女の受精卵から当ファミリーの血液は急速に広がりました。特に彼女と「オーマン」の掛け合わせによって一躍インデックスカウファミリーとして注目を浴びました。

「マリツサ」の「オーマン」による娘牛「オーマリー」の枝葉から誕生した「ハートジエンリー スーパーサイアー マリブ VG-87」【写真5】は「ヨダー」との相性が非常に良く、ファミリーは優れた遺伝伝達能力を持つ母系としての地位を強固なものにしました。

「マリブ」の代表娘牛である「ハートジエンリー ヨーダー モデスト VG-86（父：ヨダー）」【写真1】は全米第1位のネットメリットを持つ雌牛として注目を集め、初産時2-01 305日 13,978kg F4.6% P3.2%とゲノミック評価値を裏付ける好成績を記録、これまでに73頭の産子を輩出しました。中でも「モデスト」の息牛「ハートジエンリー リチヤード チヤール ET（父：チヤーリー）」は世界的に活躍する「キヤプテン」の父として名が知られ、「チヤール」を通じて世界各地に当ファミリーの遺伝子が広がっています。

「チヤール」の全兄妹「ハートジエンリー チヤーリー メーシー ET（父：チヤーリー）」【写真6】は、乳用性に富んだ機能的体型に加えて優れた生産寿命と高い乳脂肪、好繁殖性を持つことから当団でも受精卵契約を行い、優良遺伝資源造成事業によって日本に導入されました。現在では国内登録産子数は79頭と当ファミリーで最も子孫の多い枝葉となります。「メーシー」は5歳4産ベストレコード 5-05 305日 14,142kg F4.7% P3.3%を記録し、その特長は息牛である当団種雄牛「JP3H60369 フオース」【写真7】にも色濃く受け継がれています。「フオース」は中型サイズのバランスに富んだ体型で全国第1位の耐久性成分、全国第2位の在群能力を発揮し、耐病性や乳脂肪の改良にも定評があります。

また、「モデスト」のひ孫「ハートジエンリー パーフエクト ミンデイ ET VG-86（父：パーフエクト）」【写真9】は2024年12月経産牛TPI第93位にランキングしており、今日に続く優れた遺伝能力を継承するファミリーであることは疑いようがありません。

現代の改良トレンドである産乳能力・長命性・繁殖性・健康性といったバランスに富んだ遺伝能力をいち早く築き上げた当ファミリーの今後の活躍に期待が高まります。

系統図

- ♀ JDF-WI　ベリー　メアリー　EX-91(♂ベリー)【写真2】
  - ♀ ハートジエンリー　マンデル　マーラ　EX-90(♂マンデル)
    - ♀ ハートジエンリー　ダンテ　マリツサ　ET　EX-93(♂ダンテ)【写真3】
      - ♀ ハートジエンリー　オー　マリー　ET　VG-88(♂オーマン)【写真4】
        - ♀ ハートジエンリー　ラツセル　マルビナ　ET　EX-90(♂ラツセル)
          - ♀ ハートジエンリー　スーパーサイアー　マリブ　VG-87(♂スーパーサイアー)【写真5】
            - ♂ ハートジエンリー　YDR　アウトサイダーズ　ET(♂ヨダー)
            - ♂ ハートジエンリー　ヨダー　マガビン　ET(♂ヨダー)
            - ♀ ハートジエンリー　ヨーダー　モデスト　ET　VG-86(♂ヨダー)【写真1】
              - ♀ ハートジエンリー　グラウス　メンフイス　ET(♂グラウス)
              - ♂ ハートジエンリー　リチヤード　チヤール　ET(♂チヤーリー)
              - ♀ ハートジエンリー　スポツク　ムーンライト　GP-82(♂スポツク)
              - ♀ ハートジエンリー　チヤーリー　ミカ　ET(♂チヤーリー)
              - ♀ ハートジエンリー　チヤーリー　メーシー　ET　VG-87(♂チヤーリー)【写真6】
                - ♀ ネザーランド　GHT　リンク　ET(♂ソリユーシヨン)
                - ♀ アミスター　T　ハートゲンリー　チヤーム　ET(♂ソリユーシヨン)
                - ♀ ハートジエンリー　アキユラ　マイ　ガール　ET　GP-83(♂アキユラ)
                - ♀ ネザーランド　TF　メイス　ET(♂ソリユーシヨン)
                - ♀ デイベロツプ　コンプリート　メイシー　9799　ET　GP-82(♂コンプリート)
                  - ♀ デイベロツプ　バローズ　メイシー　0963　GP-81(♂バローズ)
                  - ♀ デイベロツプ　ダンサートム　メイシー　1714　GP-82(♂ダンサートム)
                - ♂ JP3H60369　デイベロツプ　フオース　ET(♂コンプリート)【写真7】
              - ♀ ハートジエンリー　RES　マラカイボ　ET(♂リゾルブ)
                - ♀ ハートジエンリー　THTI　モルデイブ　ET　VG-88(♂タヒチ)【写真8】
                  - ♀ ハートジエンリー　パーフエクト　ミンデイ　ET　VG-86(♂パーフエクト)【写真9】
              - ♀ ハートジエンリー　SKYWK　モリツサ　ET　EX-93(♂スカイウオーカー)【写真10】
                - ♀ ノースアウト　エンデバー　モリツサ　ET　GP-83　MS-85(♂エンデバー)
                  - ♀ ノースアウト　ドネリー　モリツサ(♂ドネリー)
                    - ♀ ノースアウト　メモリー　モリツサ(♂メモリー)
                  - ♀ ノースアウト　オフアー　モリツサ(♂スペシヤルオフアー)
              - ♀ ハートジエンリー　HMBLNKN　マイリー　ET　VG-88(♂ハンブレンカインド)
              - ♀ ハートジエンリー　ローラン　マラリー　ET　VG-87(♂ローラン)【写真11】
                - ♀ ウエダフアーム　レインメーカー　エレシユキガル　ET(♂アルタアビタス)
                  - ♀ ウエダフアーム　ハートジエンリー　ペース(♂ペース)
      - ♀ ハートジエンリー　オー　ミラ　ET　GP-84(♂オーマン)
        - ♀ ハートジエンリー　ラモス　メルシー　ET　VG-88(♂ラモス)
          - ♀ S-S-I　ロバスト　マホ　7083　ET　GP-81(♂ロバスト)
            - ♀ S-S-I　モーグル　マホ　8054　ET　VG-88(♂モーグル)
              - ♂ S-S-I　パーテイーロツク　プロフイツト　ET(♂パーテイーロツク)

写真2

写真3

写真4

写真5

写真6

写真7

写真8

写真9

写真10

写真11

…「隆之姫」の最新情報…

2025年10月31日 令和7年度全国肉用牛枝肉共励会 第2部和牛去勢牛

●肥育者:栃木県／(株)神田グランドファーム
●血統:隆之姫×諒太郎×安茂勝　●性別:去勢　●月齢:29ヶ月
●枝肉重量:589kg　●ロース芯面積:114㎠　●BMS No.12　●等級:A-5

2025年10月24日 第85回「名人会」肉用牛枝肉研究会

特別賞

写真提供:(株)肉牛新報社

●肥育者:津別町／迫田 隆 氏
●血統:隆之姫×美津百合×安福久　●性別:去勢　●月齢:29ヶ月
●枝肉重量:572kg　●ロース芯面積:83㎠　●BMS No.12　●等級:A-5

2025年10月24日 第85回「名人会」肉用牛枝肉研究会

写真提供:(株)肉牛新報社

●肥育者:津別町／迫田 隆 氏
●血統:隆之姫×勝忠平×福之国　●性別:去勢　●月齢:31ヶ月
●枝肉重量:619kg　●ロース芯面積:92㎠　●BMS No.12　●等級:A-5

2024年2月22日 第13回「名人会」肉用牛枝肉共励会

名誉賞

●肥育者:白老町／(有)北那須ETサービス
●血統:隆之姫×安福久×勝忠平　●性別:去勢　●月齢:27ヶ月
●枝肉重量:468kg　●ロース芯面積:102㎠　●BMS No.12　●等級:A-5

2025年11月5日 第65回仙台牛枝肉共進会 第2部黒毛和種（雌）

チャンピオン賞

写真提供:JA全農くみあい飼料株式会社

●肥育者:宮城県／那須 知則 氏
●血統:隆之姫×美津照重　●性別:去勢　●月齢:29ヶ月
●枝肉重量:476kg　●ロース芯面積:73㎠　●BMS No.12　●等級:A-5

2025年10月31日 令和7年度全国肉用牛枝肉共励会 第3部和牛牝牛

●肥育者:岩手県／熊谷 利幸 氏
●血統:隆之姫×美津照重×安福久　●性別:雌　●月齢:28ヶ月
●枝肉重量:463kg　●ロース芯面積:82㎠　●BMS No.12　●等級:A-5

H黒-340 隆之姫（たかのひめ）

■血統：福之姫×隆之国×紋次郎
■登録番号：黒15644
■審査得点：81.6点
■生年月日：平成31年1月19日
■生産者：北海道洞爺湖町　平尾 博 氏

本牛紹介動画▶

2025年4月9日 東三河食肉市場

写真提供:内柴 孝昇 氏

●肥育者:愛知県／内柴 孝昇 氏
●血統:隆之姫(交雑) ●性別:去勢 ●月齢:26ヶ月
●枝肉重量:605kg ●ロース芯面積:83㎠ ●BMS No.12 ●等級:A-5

2025年2月21日 半田食肉市場

写真提供:(有)平和牧場KT農場

●肥育者:愛知県／(有)平和牧場
●血統:隆之姫(交雑) ●性別:雌 ●月齢:24ヶ月
●枝肉重量:537kg ●ロース芯面積:75㎠ ●BMS No.12 ●等級:B-5

2024年10月10日 第20回全日本牛枝肉コンクール 第2部交雑牛の部

写真提供:(株)肉牛新報社

●肥育者:愛媛県／(株)栗田牧場
●血統:隆之姫(交雑) ●性別:去勢 ●月齢:25ヶ月
●枝肉重量:528kg ●ロース芯面積:70㎠ ●BMS No.12 ●等級:A-5

2025年4月21日 令和7年度知多牛枝肉研究会

最優秀賞

●肥育者:愛知県／石川 健一 氏
●血統:隆之姫(交雑) ●性別:去勢 ●月齢:26ヶ月
●枝肉重量:625kg ●ロース芯面積:78㎠ ●BMS No.11 ●等級:A-5

2025年10月31日 令和7年度全国肉用牛枝肉共励会 第1部乳用去勢牛及び交雑去勢牛

最優秀賞

●肥育者:栃木県／高瀬 裕之 氏
●血統:隆之姫(交雑) ●性別:去勢 ●月齢:28ヶ月
●枝肉重量:701kg ●ロース芯面積:82㎠ ●BMS No.10 ●等級:B-5

2025年7月7日 第36回南港市場交雑牛共励会

優良賞 2席

●肥育者:静岡県／高野 克也 氏
●血統:隆之姫(交雑) ●性別:去勢 ●月齢:26ヶ月
●枝肉重量:601kg ●ロース芯面積:63㎠ ●BMS No.10 ●等級:A-5

おいしい牛肉を一人でも多くのお客様に届けたい

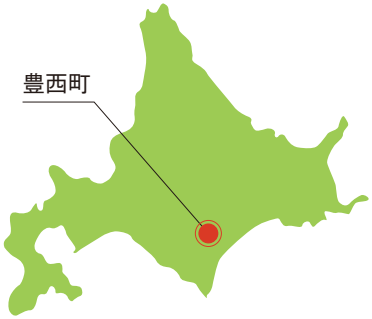
～帯広市豊西町 有限会社トヨニシファーム～

帯広市豊西町

帯広市は十勝平野のほぼ中央に市街地が形成されており、平地のおよそ半分が農地の大規模な畑作地帯です。市の北部には流域面積が国内6位の十勝川が流れており、山岳地帯は国立公園にも指定され、豊かな自然と農業の盛んな地域です。

その中で豊西町は帯広市街地の南に位置し、町の東側に十勝川水系の一級河川である札内川が流れ、小麦、大豆、ジャガイモ、長芋などの畑作が盛んです。

今回はその豊西町で肉牛の一貫生産をし、後代検定中の当団種雄牛「H黒-397　北美津豊」を生産された有限会社トヨニシファーム様を取材させていただきました。



有限会社トヨニシファーム

小倉修二さん

トヨニシファームは現在肉牛の一貫生産（ホルスタイン去勢牛、交雑牛、和牛）と農産物の生産・加工（自社加工は3割ほど）・販売を行っています。自社オリジナルブランド牛の「豊西牛」や「十勝の黒にんにく」など、多数の商品を販売しています。

代表取締役社長の小倉修二さんが京都の卸売業で和牛の素晴らしさを知り、地元十勝で自身でもおいしい牛肉を生産したいという想いから、昭和61年にトヨニシファームを設立されました。初生牛20頭を導入し、ハッチでの飼育から始まり、同年9月に一号牛舎を建築、同年12月に素牛を初出荷しました。

昭和63年に農業法人を設立、この時すでに飼養頭数は470頭にも上りました。平成5年に素牛体制から肥育体制へと移行、平成10年に和牛、翌年には交雑牛の肥育を始め、平成20年には全頭一貫肥育と、現在のトヨニシファームのベースができあがりました。

平成25年にはオリジナルブランド牛「豊西牛」として販売を開始。平成28年に加工場も新設し、平成30年にはタイ・香港に豊西牛を輸出するなど海外への進出も果たしました。

現在の経営は小倉さんと従業員50名で行っており、生産25名、販売25名の構成で運営しています。飼養頭数は和牛繁殖が600頭、豊西牛が1,200頭（内700頭が肥育）、交雑牛が2,600頭の計4,500頭です。

餌の種類は粗飼料が牧草、麦わら、デントコーンサイレージ。子牛用の配合飼料では乳酸菌発酵飼料を配合しています。多頭飼いにはTMRが適していることから、肥育牛にはTMRを給与しています。基本飽食にしており、肥育前期ではTMR少なめ、稲わら多めで給与しているとのことでした。枝肉出荷した際の枝重は雌で520kg～530kg、去勢で570kg～580kg程です。

オリジナルブランド牛

トヨニシファームを代表するブランド牛はホルスタイン雄牛の「豊西牛」の他にも、交雑牛の「帯広牛　BLENDED　BEEF」や和牛の「雪美和牛」があります。

自社牧場から出荷されるホルスタイン雄牛が「豊西牛」として販売されています。月齢をしっかり確保することで歩留りを向上させるだけでなく、肉のしまりやサシ、皮下脂肪の薄さ、ロース芯の大きさやカブリ・バラの厚み、肉や脂肪の色など様々な項目で高い評価を得られる肉を生産し続けることで、豊西牛のブランド価値を日々高めています。

また、ヘルシーな赤身肉を好む方や霜降りの肉が欲しいというニーズに応えるため、黒毛和牛とホルスタイン種の良い所を兼ね備えた交雑牛を令和3年「帯広牛　BLENDED　BEEF」としてブランド化しました。霜降り具合が程よく、食べやすい牛肉として人気があります。

さらに、令和6年にブランド展開を始めた「雪美和牛」は、肉の最高峰である黒毛和牛をブランド化したものです。京都の卸売業に

携わり、本物の和牛を知った小倉さんが自身でおいしい牛肉を作りたいという想いから生まれたブランド牛です。牛の健康管理から、優れた遺伝子交配、肉質を向上させるために改良を重ねた餌と給餌方法まで、あらゆる技術を試みてたどり着きました。

豊西牛

帯広牛

雪美和牛

今後の展望

トヨニシファームは「おいしい牛肉を一人でも多くのお客さまに食べてもらいたい」という想いで運営しておられ、「今後もよりおいしい牛肉を生産したい」とおっしゃっていました。そのためにも、和牛の脂の質にこだわっています。肉の甘みや溶けるような口当たりを更に良くするため、オレイン酸や新細かさ指数などの改良に取り組んでおられ、「トヨニシファームから今後出荷される枝肉のそういった部分に着目していただきたい」とおっしゃっていました。

和牛ではA5ランクが最も多く生産されていることで希少価値が低下、さらに餌の高騰による和牛の価格上昇により若者の牛肉離れが起きるなど多くの課題が出てきています。そのような中でも、トヨニシファームの多様なブランド牛や各地でのイベント参加・出展などのPRで多くの方々に和牛の良さをお伝えし、今後もおいしい和牛の生産・提供を行い、和牛の消費拡大を目指しています。また、「豊西牛など個々のブランドと、十勝和牛全体のブランド力向上も並行して行うことが重要だ」とお話しいただきました。

最後に、お忙しい中取材にご協力いただいた小倉様、トヨニシファーム従業員の方々にお礼を申し上げるとともに、今後のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

（十勝北見事業所　中西 圭）

過去の受賞歴

2009.10	第6回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 名誉賞
2011.10	第8回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 名誉賞
2010.11	第39回全畜連肉用牛枝肉共進会 優良賞
2013.04	第25回横浜食肉市場ミートフェアー 名誉賞
2019.12	第35回十勝和牛枝肉共励会 最優秀賞
2020.12	第36回十勝和牛枝肉共励会 優秀賞2席
2021.12	第37回十勝和牛枝肉共励会 優秀賞1席
2022.10	第12回全国和牛能力共進会 第6区 優等賞8席
2022.12	第38回十勝和牛枝肉共励会 最優秀賞
2023.12	第39回十勝和牛枝肉共励会 優秀賞1席
2024.10	第21回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 一般牛の部 優秀賞
2025.12	第40回十勝和牛枝肉共励会 優秀賞3席

※他多数受賞

株式会社トヨニシファーム

【ホームページ】https://toyonishifarm.co.jp/
【X（旧Twitter）】https://x.com/toyofar
【Instagram】https://www.instagram.com/toyonishifarm/
【Facebook】https://www.facebook.com/toyonishifarm/

販売店

【オンラインショップ】https://toyonishi-store.com/
【とかちむら産直市場】https://www.tokachi-mura.com/
【十勝VALLEYs 新千歳空港店】http://tokachi-valleys.com/
【（株）丸八食肉店】https://nikunomaruhachi.com/

豊西牛の食せる飲食店

【FLAIR BAR es（札幌市）】
https://es-entertainment.jp/restaurant/
【goffo（横浜市）】
https://gez4200.gorp.jp/

ホームページ　X（旧Twitter）　Instagram　Facebook

オンラインショップ　とかちむら産直市場　十勝VALLEYs　丸八食肉店

FLAIR BAR es　goffo

高ゲノミック育種価雌牛導入事業「GEN」の挑戦
～種雄牛造成の新たなステージへ～

JP3H61707 デコレーションヨン

2025年2月の乳用種雄牛遺伝評価成績において、JP3H61707「RARA-GEN デコレーションヨン オレンジ ET」が全国第1位のヤングサイアとしてデビューしました（2025年8月評価現在：GNTP全国第3位）。

デコレーションヨンは当団の新たな種雄牛造成プログラムである「高ゲノミック育種価雌牛導入事業」から作出されました。ジェネティクス北海道が自ら高ゲノミック評価の雌牛を所有し、世代間隔を短縮した種雄牛造成を目的としたドナー牛として集中的に受精卵生産を行うことで、より効率的な種雄牛作出を目指すものとして当事業が令和元年度から始まりました。

■プログラムの流れ

全国各地の未経産牛をゲノミック評価や血統等あらゆる角度から調査し、ブルダムとして特に期待のできる牛を購買します。所定の衛生検査を経て、北海道中標津町の当団道東事業所へドナー牛を導入します。以前は後代検定待機中の種雄牛を繋養していた牛舎を活用し、ドナー牛を管理しています。

導入したドナー牛にOPU（経膣採卵）を供してIVF卵（体外受精卵）を作成し、特定の協力牧場でこれら受精卵を移植します。OPU処置は当団獣医師が実施し、培養まですべて当団で行っています。ドナー牛は授精後もOPUを続け、最終的には協力牧場に移動したのち分娩を迎えます。

1頭のドナー牛から30～50個の受精卵を生産し、様々な掛け合わせの産子を数多く残すことができる点が最大のメリットです。これまでに当事業の受精卵から誕生したヤングサイア計16頭が後代検定に参加しています（2025年12月現在）。そして6年の月日を経て、「デコレーションヨン」が当事業の受精卵産子として初めて供用されるヤングサイアとなりました。

■広がるGENの遺伝子

当事業の受精卵から誕生した産子には、その名号に「GEN」が付けられます。また、雄牛のみならず、当事業の受精卵由来の雌牛も血液を広げ、インデックス上位にランキングされています。「マウントエース GEN ペイロード ポテトサラ ET（父：ペイロード）」が2022年8月未経産GNTP第1位にランキング。最新2025年11月では、未経産牛GNTP上位に全国第21位の「RARA-GEN エキサイト サラ ET（父：エキサイトメント）」や第28位の「RARA-GEN ウイス エージェイ ピノ ET（父：AJ）」がいます。経産牛NTP上位には全国第18位「テインカーベル GEN ペイジビユー アイリス ET（父：ページビユー）」、第27位「BRF GEN ページビユー ポテチ サラダ ET（父：ページビユー）」がランキングされており、2世代目からも種雄牛候補が輩出されています。

マウントエース GEN ペイロード ポテトサラ ET

日本国内のゲノミック評価は毎年のように新しい形質を導入し、日本の環境に適した現代酪農に求められる乳牛改良に日々変化してきています。今後GENと名のついた牛達の更なる活躍が期待されます。

（改良部 乳牛改良課　田代 一歩）

令和7年 本誌表紙を飾った作品

作者：冨田 美穂（北海道小清水町在住）

Vol.467 冬号「勝俊桜」

Vol.468 春号「あご置き場」

Vol.469 夏号「反芻和牛ちゃん」

Vol.470 秋号「レッド子牛ちゃん」

第13回 全国和牛能力共進会北海道大会の開催について

令和9年、全国から選び抜かれた和牛が十勝に集結し、生産技術などを競う和牛の祭典を北海道で初めて開催します！
また、全国銘柄牛の試食など楽しいイベントも多数予定しています！詳細は大会HPからご確認ください。

問い合わせ先 第13回 全国和牛能力共進会北海道実行委員会事務局（TEL:011-209-8553）

令和7年度後期

新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

H黒-451 博幸紀
【ヒロサキ】

14017-3571-3　黒原 6714　令和6年3月9日生
得点85.2点　生産者：洞爺湖町　野々村 渉 氏

博紅葉	勝早桜5	勝忠平
	ふくもみじ	福桜（宮崎）
ももよ	幸紀雄	百合茂
	あいちゃん	安福久

母「ももよ（父：幸紀雄）」は脂肪交雑84位（令和2年7月北海道育種価）など、長きにわたり上位にランクしている高育種価雌牛です。

その母に北海道育種価において新細かさ指数とオレイン酸で高い評価を得ている当団種雄牛「博紅葉」を交配し、気高系の血統固定を図った本牛は、脂肪交雑能力と枝肉重量の改良だけでなく、おいしさにかかる形質の改良にも期待する気高系種雄牛です。

本牛は均称、品位、前躯に優れています。

▶MOVIE

H黒-456 北月乃
【キタツキノ】

16952-2984-4　黒原 6716　令和6年4月25日生
得点84.3点　生産者：新得町　千葉 典弘 氏

北美津久	美津照重	美津照
	てつせん	安福久
つきの	勝早桜5	勝忠平
	みさき352	美国桜

祖母「みさき352（父：美国桜）」は優秀な雌牛を多数輩出している「みつはな系」であり、十勝和牛育種組合育種牛に認定された系統雌牛です。脂肪交雑1位（令和3年1月北海道育種価）など、長きにわたり上位にランクし、高い育種価も持ちます。

また、母「つきの（父：勝早桜5）」も高い育種価を示し、親子2代にわたる高育種価雌牛です。

その母に当団代表種雄牛である「北美津久」を交配した本牛は、脂肪交雑能力と枝肉重量の改良に期待する田尻系種雄牛です。

本牛は体伸、体深に富み、体上線が強く、後躯に優れています。

▶MOVIE

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に公益社団法人全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法（以下：現場後代検定）による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。

令和7年度後期の現場後代検定実施種雄牛を紹介させていただきます。

H黒-460 【ヒロミツトヨ】 博美津豊

16770-1146-7　黒原 6717　令和6年4月21日生
得点86.0点　生産者：帯広市　（株）トヨニシフードテック

博紅葉	勝早桜5	勝忠平
	ふくもみじ	福桜（宮崎）
ゆり428	北美津久	美津照重
	ゆきは1399	勝忠平

祖母「ゆきは１３９９（父：勝忠平）」は脂肪交雑14位（令和5年7月北海道育種価）など、長きにわたり上位にランクしている高育種価雌牛です。第38回十勝和牛枝肉共励会にて22産目の去勢肥育（父：勝平１）が最優秀賞を受賞（A-5、枝肉重量601kg、ロース芯面積100㎠、BMS No.12）したほか、11頭がBMS No.2桁で、その内10頭がBMS No.12を記録しております。

また、母「ゆり４２８（父：北美津久）」は後代検定中の当団種雄牛「北美津豊」の全姉であり、北海道ゲノム育種価で高い評価を得ている雌牛です。

その母に北海道育種価において新細かさ指数とオレイン酸で高い評価を得ている当団種雄牛「博紅葉」を戻し交配し、気高系の血統固定を図った本牛は、審査得点86.0点を記録し、脂肪交雑能力と枝肉重量の改良だけでなく、体型やおいしさにかかる形質の改良に期待する気高系種雄牛です。

本牛は体積に富み、均称、後躯に優れています。

▶MOVIE

H黒-461 【タクユメヒラ】 拓夢平

16868-8841-8　黒 16203　令和6年5月16日生
得点87.2点　生産者：江別市　酪農学園元野幌農場

拓忠平	拓百合	百合茂
	あくび	勝忠平
たつひめ4	英貞	勝早桜5
	りな30	勝平1

祖母「りな３０（父：勝平1）」は3代高等登録牛であり、第32回北海道肉用牛共進会において、娘「あちゃこ３（父：梅栄福）」と出品された母系群で1等賞2席を獲得した高能力・高体型な雌牛です。

また、母「たつひめ４（父：英貞）」は北海道ゲノム育種価で高い評価を得た雌牛です。

その母に北海道育種価で高い評価を得ている当団種雄牛「拓忠平」を交配し、気高系の血統固定を図った本牛は、「英貞」と「北神居」に次ぐ87.2点という高い審査得点を記録し、脂肪交雑能力だけでなく、体型の改良に期待する3代北海道繋養種雄牛です。

本牛は体積に富み、均称、品位、後躯に優れています。

▶MOVIE

謹賀新年

昨年は大変お世話になり
心よりお礼申し上げます
今年もどうぞよろしく
お願いいたします

二〇二五

All JAPAN HOLSTEIN GRAND PRIX

2025年10月25日(土)・26日(日)、北海道安平町 北海道ホルスタイン共進会場にて第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会が開催されました！

全国39の都道府県から出品された386頭(ホルスタイン種358頭、ジャージー種28頭)の中から、大変優秀な成績をおさめた当団種雄牛娘牛をご紹介いたします！

LITTLESTAR JP3H58868

第1部 Jサイアカーフクラス 優等賞 1席

ローヤルランド ライアンス リトルスター
母の父：サンライズ
出品者：北海道　木村 達也 氏

第1部 Jサイアカーフクラス 優等賞 2席

クレスタ エンジエル リトルスター
母の父：ブーテイー
出品者：北海道　中嶋 卓広 氏

CAPRESE JP3H60517

第7部 Jサイア2歳クラス 優等賞 1席 BU

シミズファーム リンジー サラダ
母の父：デンバー
出品者：岩手県　清水 繁勝 氏

第7部 Jサイア2歳クラス 優等賞 3席

コバリ カプレゼ ゼロ ボヌツチ
母の父：モデステイー
出品者：栃木県　小針 勤 氏

第11部 Jサイア3歳クラス 優等賞 1席 BU

スウイートハート キヤラメル ソルト フラペチーノ
母の父：ドアマン
出品者：北海道　天野 雄介 氏

Genetics Hokkaido
一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
https://www.genetics-hokkaido.ne.jp →

@gh_assoc
@genetics.hokkaido
@gh_assoc
ジェネティクス北海道

〈業務部〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈改良部〉
乳牛改良課・遺伝分析課
TEL(011)242-9646
肉牛改良課
TEL(011)242-9647

●道北事業所…… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所…… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411
広域 TEL(011)375-4395(都府県 担当連絡先)
●十勝北見事業所…… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター… TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330
●生産技術センター…… TEL(0156)67-9305 FAX(0156)67-9306